

平成 29 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年 報



目 次

I 概 要

1. 設置目的	1
2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み	1
3. 施設の概要	2
4. 組織と職員一覧（平成 29 年度）	4
5. 調査業務	
(1) 発掘調査	5
(2) 資料整理	5
6. 資料の貸出・利用	6
7. 普及・活用	
(1) 常設展示及び屋外展示等	6
(2) 団体見学	9

II 平成 29 年度の報告

1. 予算及び決算	
(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳	10
(2) 財源内訳	10
2. 発掘調査等	
(1) 分布調査、試掘・確認調査	11
(2) 保存・活用目的の調査	11
(3) 記録保存調査	11
(4) 工事立会	11
(5) 市町村支援	11
(6) 資料整理・報告書作成	12
3. 普及・活用	
(1) 入所者一覧	13
(2) 団体見学一覧	14
(3) 活動実績	15
4. 資料の貸出・利用	
(1) 資料の貸出件数	18
(2) 資料の利用件数	18
5. 研修・職員派遣	
(1) 研修	18
(2) 職員派遣	18

Ⅰ 概要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

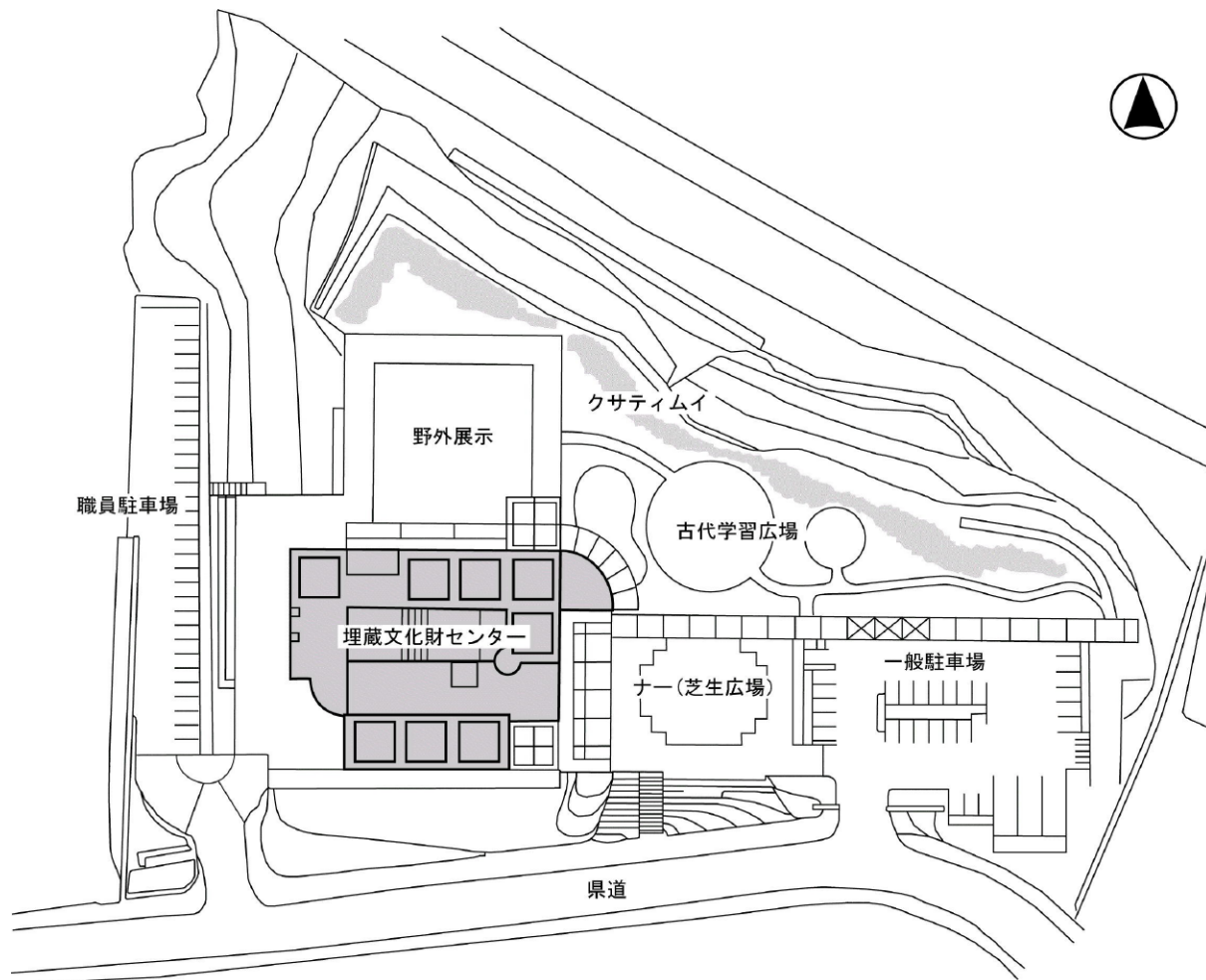
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

- | | |
|--------------|---|
| 平成 5 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。 |
| 平成 6 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。 |
| 平成 7 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了 |
| 平成 7 年 11 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了 |
| 平成 10 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工 |
| 平成 11 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工 |
| 平成 11 年 12 月 | 平成 11 年第 7 回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了 |
| 平成 12 年 4 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 |
| 平成 13 年 3 月 | 企画展示室除湿工事完了 |
| 平成 14 年 3 月 | 収蔵庫空調設備工事完了 |

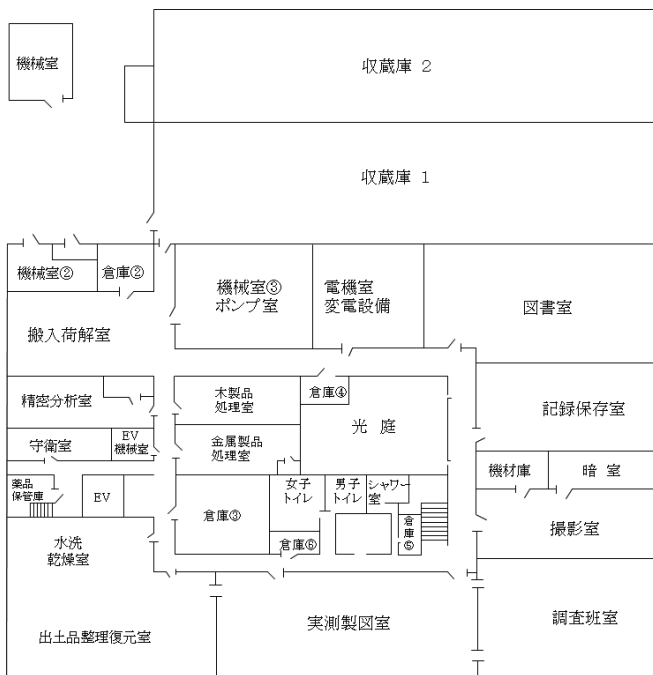
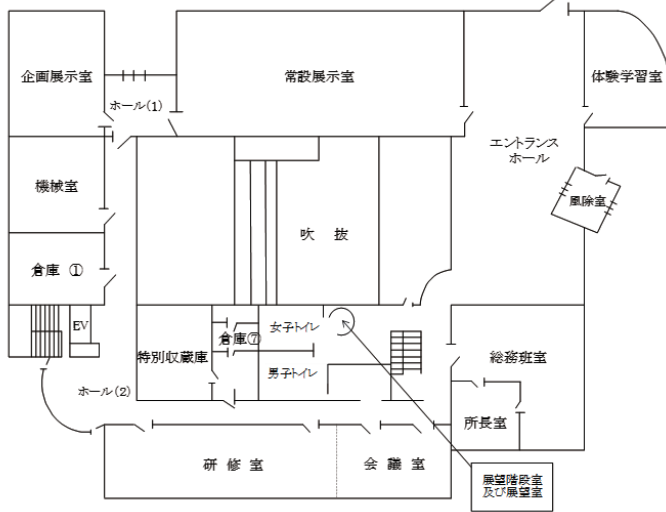
3. 施設の概要

地名・地番	沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
敷地面積	15,635 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 2 階
建築面積	3,688.29 m ²
延床面積	4,179.88 m ²



埋蔵文化財センター配置図

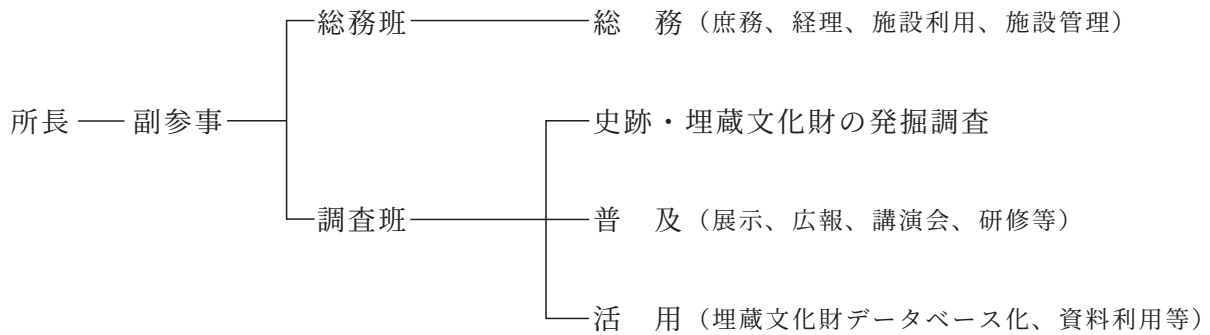
建物室別面積



区分	室名	面積 (m ²)
展望室	展望室	14.33
	展望階段室	14.33
	小計	28.66
2階	エントランスホール	161.24
	体験学習室	64.80
	常設展示室	170.84
	企画展示室	87.80
	研修室	170.58
	会議室	86.39
	特別収蔵庫	69.70
	総務班室	66.55
	所長室	20.63
	給湯室・トイレ等	398.02
小計	1296.55	
1階	収蔵庫	1319.76
	搬入荷解室	52.04
	木製品処理室	33.89
	金属製品処理室	35.01
	精密分析室	40.32
	水洗乾燥室	57.01
	出土品整理復元室	124.71
	実測製図室	206.84
	調査班室	101.10
	撮影室	66.99
	記録保存室	85.19
	図書室	118.21
	機械室	109.82
給湯室・トイレ等	480.73	
小計	2831.62	
屋外機械室		23.05
合計		4179.88

4. 組織と職員一覧（平成29年度）

【組織】



【職員一覧】

所長 金城 亀 信
副参事 濱口 寿 夫

総務班	
職名	氏名
総務班長	比嘉智博
主幹	大城喜信
主任	糸数晃子
主事	當山 彬
主事	上間 優多

調査班	
職名	氏名
調査班長	仲座久宜
指導主事	久高 健
主任専門員	長嶺 均
主任専門員	片桐 千亜紀
主任専門員	瀬戸 哲也
主任専門員	新垣 力
主任	大堀 皓平
主任	金城 貴子
主任	具志堅 清大
主任	亀島 慎吾
主任	宮城 淳一
専門員	南 勇輔
専門員	玉城 綾
専門員	田村 薫

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で分類すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分についてやむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、開発側が沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に埋蔵文化財センターで保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

資料整理の流れ

STEP 1 洗 浄	出土品についた土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。
STEP 2 注記・分類	出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。
STEP 3 接合・拔出し	出土品の多くが小破片のため、できるだけものの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。
STEP 4 実測・復元	出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。
STEP 5 トレース	報告書に掲載するために、実測した図をきれいになぞる。
STEP 6 写真撮影	報告書に掲載するための写真を撮影する。
STEP 7 図・図版作成	トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。

6. 資料の貸出・利用

沖縄県立埋蔵文化財センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示や図録掲載などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター 所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとなっている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図ると同時に、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催を始め、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84㎡）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、9つのテーマにそったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を復元した「琉球御前」の展示ケースを設置し、2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。また平成29年1月より、当センターが所蔵する一押し逸品を、月替わりで展示する「まいコレ（埋文コレクション）」を展示している。

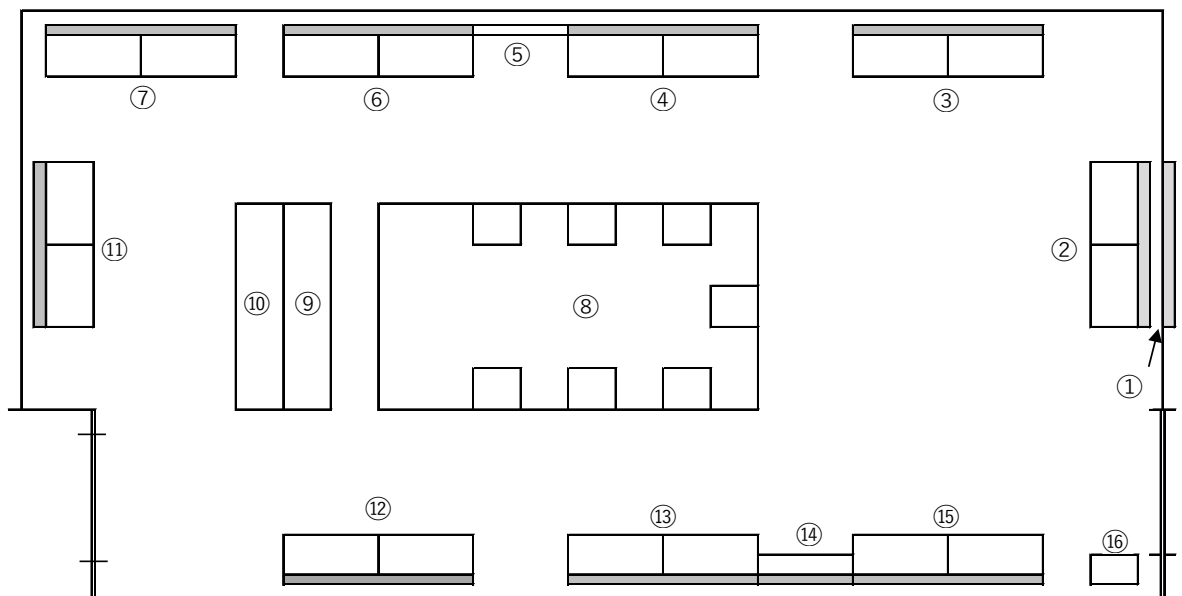


図1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ④ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑤ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑥ 住まいと道具－1
- ⑦ 貝の道
- ⑧ 再現された「2000年前の琉球のムラ」（ジオラマ）
- ⑨ 復元した「琉球御前」
- ⑩ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑪ グスクの移り変わり
- ⑫ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑬ 沖縄の古窯
- ⑭ 沖縄県の戦争遺跡
- ⑮ 先史時代の宮古・八重山諸島
- ⑯ まいコレ（埋文コレクション）

②体験学習室（64.80 m²）

体験学習室（図2）では、実際に手で触れたり、体験したりすることを通じて、当センターの活動や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の活動をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の活動を体験できるようにしている。

また窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合の作業を体験してもらうため、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに体験学習室の真ん中にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触ったり、持ったりしてもらうことで、縄文時代の人々の生活を肌で感じられるようにしている。

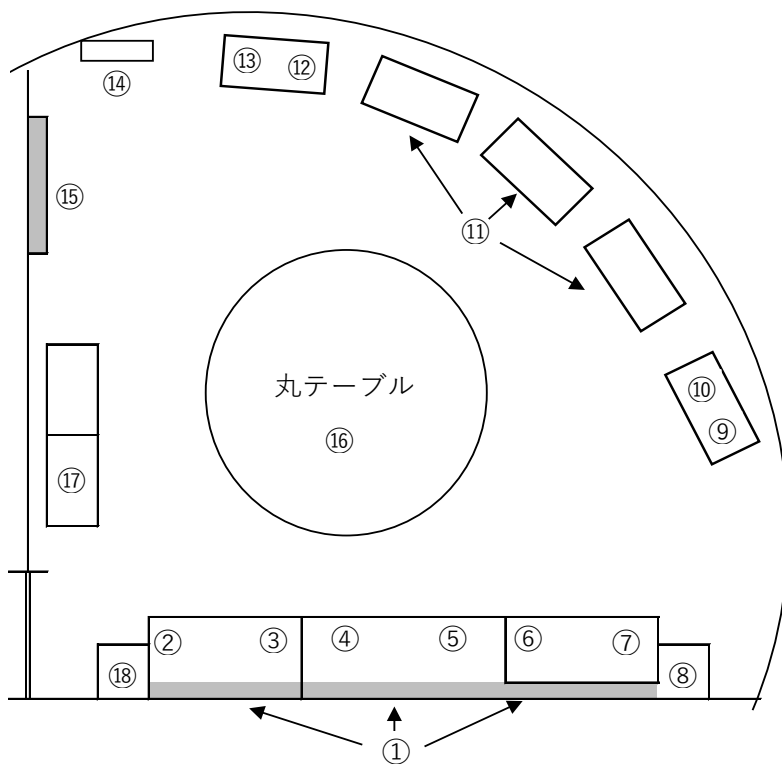


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|--|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査ってどう掘るの？」
「資料整理の様子をのぞいてみよう」 | ⑩ 日本で一番古いお墓 |
| ② トレース台 | ⑪ 接合にチャレンジ（パズル） |
| ③ 実測機 | ⑫ 土器の文様をつけてみよう |
| ④ 接合・復元 | ⑬ ペーパークラフトをつくってみよう |
| ⑤ ナンバーリング | ⑭ ロールスクリーン（仲原遺跡） |
| ⑥ 洗い作業 | ⑮ 重要文化財首里城京の内跡出土品
パズル |
| ⑦ 型式学 | ⑯ 縄文時代の主な土器 |
| ⑧ 発掘調査で使う道具 | ⑰ 火起こし器 |
| ⑨ 黒曜石はどれだ？ | ⑱ 古代人になってみよう |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアータイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して空調（温湿度）を管理することができ、国指定重要文化財の展示にも対応できる。

④古代学習広場

「古代学習広場」は、「親子体験学習」や「火おこし体験」、「土器づくり」等で活用している。

⑤研修室（170.58 m²）

考古学に関する会議や研修、または文化講座等を開催している。

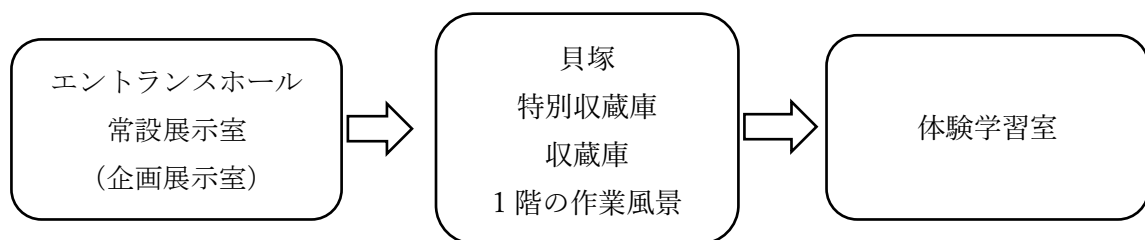
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

埋蔵文化財センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることができる。

（2）団体見学

当センターは、学校や自治会などの様々な団体の団体見学を受け入れており、その際担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫の見学や当センターでの業務の様子の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・ 団体見学は、10名様以上の団体が対象。
- ・ 団体見学を希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・ 団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・ 「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。
- ・ 団体見学は原則として休所日を除く火曜日～金曜日（9時～17時）に実施している。

II 平成 29 年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

事業区分	事業名	当初予算	補正額等	最終予算	決算額	繰越額	
国庫補助事業	(文化庁計上分)						
	(1) 県内遺跡発掘調査等	72,018,000	▲ 4,589,000	67,429,000	62,908,551	0	
	(2) 京の内跡出土陶磁器保存修理	4,872,000	▲ 581,000	4,291,000	4,213,840	0	
	(3) 地域の特色ある埋蔵文化財活用	8,698,000	▲ 1,604,000	7,094,000	7,035,989	0	
	(4) 円覚寺跡保存整備	6,800,000	▲ 3,116,000	3,684,000	3,623,260	0	
	国庫補助事業計	92,388,000	▲ 9,890,000	82,498,000	77,781,640	0	
受託事業	(受託元) 沖縄総合事務局	(1) 首里城跡発掘調査	40,174,000	0	40,174,000	33,246,000	0
	(受託元) 国土交通省大阪航空局	(2) 大嶺村跡発掘調査	34,200,000	▲ 5,670,000	28,530,000	27,878,599	0
	(受託元) 沖縄防衛局	(3) 神山古集落遺跡発掘調査	165,700,000	▲ 47,068,000	118,632,000	96,875,000	0
	(受託元) 沖縄防衛局	(4) 東普天間住宅地区発掘調査	134,000,000	▲ 69,000	133,931,000	132,621,180	0
		受託事業計	374,074,000	▲ 52,807,000	321,267,000	290,620,779	0
分任事業	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査 (現年)	43,306,000	▲ 4,415,688	38,890,312	35,024,030	3,866,282
	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査 (繰越)	2,358,264	0	2,358,264	2,358,264	0
	(分任元) 沖縄県土木建築部	龍潭線街路整備事業発掘調査 (現年)	8,195,000	▲ 744,000	7,451,000	7,451,000	0
	(分任元) 沖縄県土木建築部	龍潭線街路整備事業発掘調査 (繰越)	6,805,000	0	6,805,000	6,805,000	0
		分任事業計	60,664,264	▲ 5,159,688	55,504,576	51,638,294	3,866,282
県単事業	学校建設費	首里高校内埋蔵文化財発掘調査 (現年)	290,000,000	▲ 9,336,560	280,663,440	172,403,222	107,640,047
	学校建設費	首里高校内埋蔵文化財発掘調査 (繰越)	4,428,000	0	4,428,000	4,428,000	0
	文化施設事業費	埋蔵文化財センター事業費	19,231,000	684,000	19,915,000	19,726,418	0
		県単事業計	313,659,000	▲ 8,652,560	305,006,440	196,557,640	107,640,047
総合計		840,785,264	▲ 76,509,248	764,276,016	616,598,353	111,506,329	

(2) 財源内訳

単位：円

事業区分	合計	国庫	特定財源	県債	一般
当初予算額	840,785,264	107,512,264	374,074,000	0	359,199,000
補正額等	▲ 76,509,248	▲ 9,979,145	▲ 52,807,000	0	▲ 13,723,103
最終予算	764,276,016	97,533,119	321,267,000	0	345,475,897
決算額	616,598,353	88,476,837	290,620,779	0	237,500,737
繰越額	111,506,329	3,866,282	0	0	107,640,047

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	キャンプシュワブ海域文化財（水中遺跡確認調査）	名護市	片桐千亜紀	埋蔵文化財の有無確認	平成29年4月1日～平成30年3月の間随時	1,633,939 m ²	先史・近世・近代・現代/遺物散布地
2	中城御殿跡	那覇市	宮城淳一、田村薫	埋蔵文化財の範囲・内容の確認	平成29年8月2日～平成30年2月28日	約130 m ²	グスク・近世・近代/城館跡

(2) 保存・活用目的の調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
	(なし)						

(3) 記録保存調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	普天間石川原遺跡、普天間グスクンニール遺跡、普天間下原古墓群	宜野湾市普天間1116番地ほか（キャンプ瑞慶覧内）	具志堅清大、南勇輔	沖縄防衛局による宅地造成、住宅建設（キャンプ瑞慶覧内）	平成29年8月23日～平成30年3月14日	約6,900 m ²	縄文・グスク・近世～近代/集落遺跡
2	神山古集落遺跡	宜野湾市神山322番地ほか（普天間飛行場内）	瀬戸哲也、玉城綾	普天間飛行場内の雨水排水施設（調整池）設置	平成29年3月17日～平成29年8月17日	約6,800 m ²	グスク・近世～近代/集落跡
3	首里当蔵旧水路	那覇市首里当蔵町1丁目	瀬戸哲也	龍潭線道路整備	平成29年12月5日～平成30年1月31日	約168 m ²	近世～近代/交通遺跡
4	中城御殿跡（首里高校内）	沖縄県那覇市首里真和志町2丁目43	亀島慎吾	首里高校校舎改築	平成29年8月24日～平成30年4月27日	約1,220 m ²	グスク・近世～近代/屋敷跡

(4) 工事立会

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	綾門大道跡	那覇市首里（首里高校沿線道路）	亀島慎吾	遺跡案内板撤去	平成29年4月14日	—	グスク・近世/道跡
2	綾門大道跡	那覇市首里（首里高校沿線道路）	亀島慎吾、玉城綾	街灯移設工事	平成29年6月30日	—	グスク・近世/道跡
3	中城御殿跡（首里高校内）	那覇市首里（首里高校内）	亀島慎吾	旧校舎の地中梁及び基礎撤去	平成29年8月11～23日	—	グスク・近世/屋敷跡
4	中城御殿跡（首里高校内）、綾門大道跡	那覇市首里（首里高校内）	亀島慎吾	校門（南門）建設	平成29年9月28～29日、11月1日	—	グスク・近世/屋敷跡、道跡
5	中城御殿跡（首里高校内）	那覇市首里（首里高校内）	亀島慎吾	新校舎建設に伴う外構工事等	平成29年10月6～13日	—	グスク・近世/屋敷跡

(5) 市町村支援

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	長崎兼久遺物散布地	名護市	大堀皓平、金城貴子、新垣力、宮城淳一	記録保存調査	平成30年2月13日～平成30年3月30日	6,000 m ²	近世・近代/遺物散布地

(6) 資料整理・報告書作成

No.	遺跡名・報告書名等	所在地	担当者	分析指導・協力等	経費負担	調査年度	刊行年月
1	中城御殿(首里高校内)ー首里高校改築に伴う発掘調査ー(第93集)	那覇市	亀島慎吾	丸山真史(東海大学海洋学部講師)	県教育庁施設課	平成25～28	平成29年7月
2	基地内文化財8ー平成27・28年度キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区試掘・確認調査ー(第94集)	宜野湾市(キャンプ瑞慶覧内)	具志堅清大 南勇輔	ー	文化庁 県	平成27・28	平成30年3月
3	中城御殿跡ー県営首里城公園中城御殿跡発掘調査報告書(6)ー(第95集)	那覇市	山本正昭 田村薫	ー	県土木建築部(都市計画・モノレール課)	平成19～21	平成30年3月
4	首里城跡京の内跡発掘調査報告書(VII)ー平成6年度調査の遺物編(4)ー(第96集)	那覇市	金城亀信	ー	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成6	平成30年3月
5	首里城跡ー継世門北地区発掘調査報告書ー(第97集)	那覇市	瀬戸哲也	丸山真史(東海大学海洋学部講師) 野上健紀(長崎大学多文化社会学准教授) 小林仁(大阪市立東洋陶磁美術館)	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成26	平成30年3月
6	首里城跡ー東のアザナ北地区発掘調査報告書ー(第98集)	那覇市	新垣力	丸山真史(東海大学海洋学部講師)	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成24・25	平成30年3月
7	神山古集落	宜野湾市(普天間飛行場内)	瀬戸哲也	ー	防衛局	平成29	平成30年度刊行予定
8	大嶺村跡	那覇市	長嶺均 大堀皓平	小畑弘己(熊本大学文学部) 黒住耐二(千葉県立中央博物館)	国土交通省 大阪航空局	平成27・28	平成30年度刊行予定
9	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜 片桐千亜紀	調査指導委員会: 稲田孝司(岡山大学名誉教授)、安里嗣淳(サンゴ礁文化研究所所長)、石原与四郎(福岡大学理学部助教)、神谷厚昭(元県立高校教諭)、佐藤宏之(東京大学大学院教授)、土肥直美(琉球大学医学部非常勤講師)、吉村和久(九州大学名誉教授)	文化庁 県	平成24～28	平成30年度刊行予定

※分析指導・協力等は平成29年度の実績

3. 普及・活用

平成 29 年度は、9,638 人の方々に当センターをご利用いただいた。企画展や文化講座、夏休み体験学習の開催、また団体見学や職場体験の受け入れや出前講座の実施などを通じて、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められる機会を提供してきた。

企画展に関しては、5月に緊急公開「白保竿根田原洞穴遺跡白保1号～4号人骨」を開催し3,286人の方々が見学された。その後6月に「沖縄県の戦争遺跡」、8月に「発掘調査速報展2017」、10月に「おきなわむかしむかし」、2月に「重要文化財公開 首里城京の内跡出土品展～探究し続ける心～」を開催した。

移動展については、9月に八重山博物館と波照間公民館で「下田原貝塚出土品展」を開催した。また、1月16日から2月4日には恩納村博物館で、2月16日から25日には宮古島市総合博物館で巡回展「発掘調査速報展2017」を開催した。

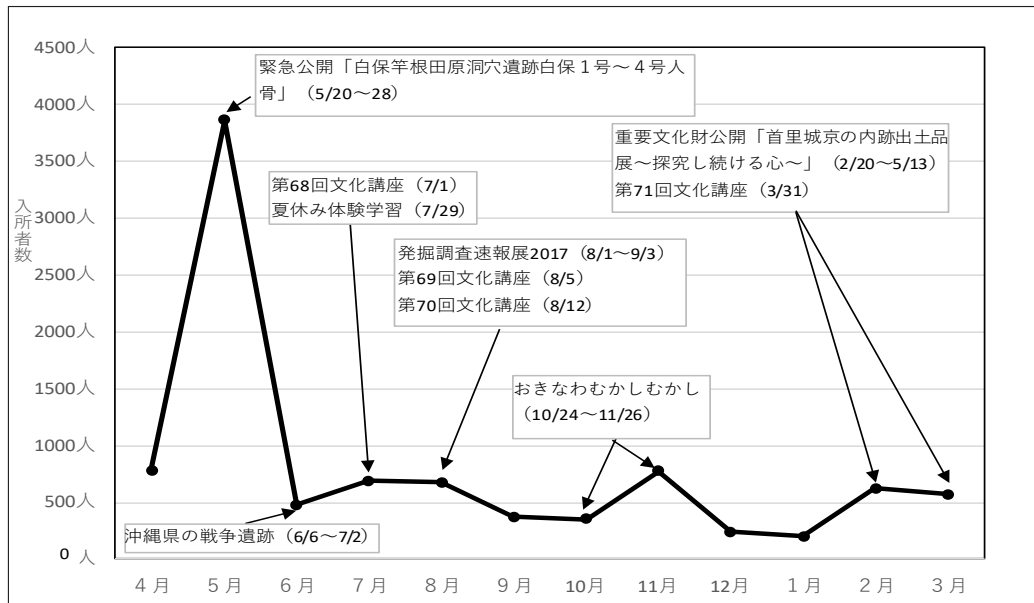
文化講座は、企画展に関連した講座を4つ実施することができた。夏休み体験学習は8月に「焼かないミニ土器作り」を実施し、多くの保護者・児童が参加した。団体見学は、45団体、1631人を受け入れ、職場体験は21校、計51人の生徒を受け入れた。また4つの学校に出向いて出前授業を行った。

(1) 入所者一覧

単位：人

月	一般見学						施設利用 ※	総計
	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計		
4月	531	5	9	20	124	689	95	784
5月	713	64	188	186	2680	3831	30	3861
6月	37	35	0	66	314	452	30	482
7月	38	5	4	7	274	328	364	692
8月	110	12	4	26	396	548	130	678
9月	18	1	27	4	179	229	140	369
10月	32	6	10	77	197	322	30	352
11月	54	10	43	158	418	683	94	777
12月	51	10	10	23	106	200	38	238
1月	8	16	29	7	86	146	60	206
2月	18	3	0	21	304	346	280	626
3月	39	4	19	15	277	354	219	573
合計	1649	171	343	610	5355	8128	1510	9638

※文化講座、資料閲覧、研修室使用等で来所した人数



(2) 団体見学一覧

No.	見学月日	曜日	団体名	見学者数
1	4月13日	木	西原町立坂田小学校	143
2	4月14日	金	那覇市立与儀小学校	59
3	4月19日	水	西原町立西原南小学校	53
4	4月20日	木	西原町立西原東小学校	78
5	4月27日	木	宜野湾市立普天間第二小学校	99
6	4月28日	金	宜野湾市立長田小学校	85
7	5月2日	火	中城村立中城南小学校	75
8	5月9日	火	北中城村立北中城小学校	123
9	5月10日	水	琉球大学 沖縄の文化	30
10	5月10日	水	琉球大学 沖縄の文化	30
11	5月11日	木	琉球大学教育学部生産健康教育コース	14
12	5月12日	金	北谷町立北谷第二小学校	88
13	5月19日	金	新中糖産業株式会社	7
14	5月23日	火	沖縄県立嘉手納高等学校	29
15	5月24日	水	沖縄県立嘉手納高等学校	30
16	5月25日	木	沖縄県立嘉手納高等学校	30
17	5月26日	金	沖縄県立嘉手納高等学校	30
18	5月26日	金	沖縄県立中部商業高等学校	29
19	6月21日	水	沖縄国際大学	28
20	7月11日	火	糸満市町端区自治会	17
21	7月26日	水	コロニー児童デイサービスにしぎき	16
22	8月1日	火	豊見城市立伊良波中職員研修	5
23	8月16日	水	にじいろ学園	21
24	9月8日	金	中頭地区社会教育主事協会	15
25	9月28日	木	ペアーレ楽園・幸寿大学	50
26	10月11日	水	糸満がじゅまる児童センター	18
27	10月19日	木	琉球大学法文学部博物館学教育論受講生	45
28	10月27日	金	恩納村立安富祖小中学校	30
29	10月31日	火	浦添市緑ヶ丘自治会ふれあいサロン	46
30	11月10日	金	中城村教友会	20
31	11月16日	木	琉球大学法文学部人類学専攻	34
32	11月16日	木	かりゆし長寿大	12
33	11月20日	月	琉球大学留学生対象授業	15
34	11月29日	水	坂田自治会	26
35	12月6日	水	糸満市西崎ニュータウン自治会	24
36	12月13日	水	琉球大学考古学関係授業	15
37	12月14日	木	琉球大学附属小学校	34

No.	見学月日	曜日	団体名	見学者数
38	1月16日	火	沖縄県立中部商業高等学校	16
39	1月16日	火	沖縄県立中部商業高等学校	13
40	2月13日	火	糸満市地域デイサービス	18
41	2月16日	金	若者未来シティサポートセンター	8
42	2月28日	水	糸満市座波地区地域デイサービス	15
43	3月10日	土	北海道シービーツアーズ	15
44	3月13日	火	沖縄県立中部商業高等学校	16
45	3月20日	火	新垣自治会	27
合 計				1631

(3) 活動実績

① 企画展

	名 称	期 間	観覧者数 (人)
1	緊急公開「白保竿根田原洞穴遺跡白保1号～4号人骨」	平成29年5月20日～28日	3286
2	沖縄県の戦争遺跡	平成29年6月6日～7月2日	576
3	発掘調査速報展2017	平成29年8月1日～9月3日	721
4	移動展「下田原貝塚出土品展」(八重山博物館)	平成29年9月1日～9月10日	263
5	移動展「下田原貝塚出土品展」(波照間公民館)	平成29年9月15日～9月17日	213
6	おきなわむかしむかし	平成29年10月24日～11月26日	872
7	巡回展「発掘調査速報展2017」 (恩納村博物館)	平成30年1月16日～2月4日	1080
8	巡回展「発掘調査速報展2017」 (宮古島市総合博物館)	平成30年2月16日～25日	463
9	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～探求し続ける心～」	平成30年2月20日～5月13日	2172
合 計			9646

② 埋文コレクション

No.	名 称	期 間
4	龍淵橋の羽目石①	平成29年4月1日～30日
5	龍淵橋の羽目石②	平成29年5月1日～31日
6	鑿子(けいす)	平成29年6月1日～30日
7	インディアンオーク号の銅板	平成29年7月1日～31日
8	プロビデンス号の遺物	平成29年8月1日～31日
9	銅鏡	平成29年9月1日～10月1日
10	活字	平成29年10月3日～10月31日
11	カムイヤキ	平成29年11月1日～30日
12	印部石(ハル石)	平成29年12月1日～28日
13	香炉	平成30年1月5日～31日
14	金剛力士像	平成30年2月1日～28日
15	漆塗りの壺	平成30年3月1日～4月1日

③文化講座

回	名 称	開催日	講 師	参加者数 (人)
第 68 回	沖縄県の戦争遺跡－「記憶との対話を求めて」	平成 29 年 7 月 1 日	吉浜忍	92
第 69 回	発掘調査速報 2017 その 1	平成 29 年 8 月 5 日	金城貴子、大堀皓平、宮城淳一、田村薫、南勇輔	68
第 70 回	発掘調査速報 2017 その 2	平成 29 年 8 月 12 日	横尾昌樹、久貝弥嗣、仲座久宜	53
第 71 回	京の内跡出土品と過ごした日々	平成 30 年 3 月 31 日	金城亀信	93
合 計				306

④夏休み体験学習

No.	名 称	開催日	参加者数 (人)
1	夏休み体験学習「焼かないミニ土器作り」	平成 29 年 7 月 29 日	92

⑤職場体験

No.	学校名	期 間	参加者数
1	西原町立西原中学校（2年生）	平成 29 年 6 月 27 日～ 29 日	3
2	西原町立西原東中学校（2年生）	平成 29 年 6 月 26 日～ 28 日	3
3	宜野湾市立宜野湾中学校（2年生）	平成 29 年 6 月 26 日～ 28 日	2
4	北中城村立北中城中学校（2年生）	平成 29 年 7 月 4 日～ 5 日	3
5	中城村立中城中学校（2年生）	平成 29 年 7 月 4 日～ 6 日	1
6	沖縄国際大学（3年生）	平成 29 年 9 月 6 日～ 15 日	1
7	沖縄県立浦添工業高等学校（2年生）	平成 29 年 9 月 20 日～ 22 日	3
8	沖縄県立開邦高等学校（2年生）	平成 29 年 10 月 26 日～ 27 日	3
9	沖縄県立那覇工業高等学校（2年生）	平成 29 年 9 月 27 日～ 29 日	3
10	沖縄県立中部商業高等学校（2年生）	平成 29 年 10 月 24 日～ 26 日	3
11	沖縄県立開邦中学校（2年生）	平成 29 年 10 月 26 日～ 27 日	2
12	沖縄県立浦添高等学校（2年生）	平成 29 年 11 月 7 日～ 9 日	2
13	沖縄県立首里高等学校（1年生）	平成 29 年 11 月 7 日～ 9 日	4
14	沖縄県立知念高等学校（2年生）	平成 29 年 11 月 8 日～ 10 日	2
15	沖縄県立首里東高等学校（2年生）	平成 29 年 11 月 14 日～ 16 日	1
16	沖縄県立陽明高等学校（2年生）	平成 29 年 11 月 15 日～ 17 日	2
17	沖縄県立西原高等学校（2年生）	平成 29 年 11 月 15 日～ 17 日	3
18	中城村立中城中学校（1年生）	平成 29 年 11 月 29 日～ 30 日	2
19	浦添市立浦添中学校（1年生）	平成 29 年 12 月 13 日～ 15 日	3
20	浦添市立仲西中学校（1年生）	平成 30 年 1 月 23 日～ 25 日	3
21	那覇市立首里中学校（1年生）	平成 30 年 1 月 25 日～ 26 日	2
合 計			51

⑥ 出前授業

No.	学校名	内容	日付
1	西原町立西原小学校	沖縄（沖縄島）の貝塚時代	平成 29 年 5 月 5 日
2	沖縄県立球陽高等学校	発掘調査からわかる沖縄本島の歴史	平成 29 年 6 月 6 日
3	竹富町立波照間小中学校	発掘調査からわかる波照間の歴史	平成 29 年 9 月 15 日
4	恩納村立安富祖小中学校	古代体験火を起こそう	平成 29 年 12 月 8 日

⑦ 現地説明会

No.	名称	場所	開催日	参加人数
1	首里当蔵旧水路、中城御殿跡（県立博物館跡地）	那覇市	平成 29 年 12 月 23 日	310



団体見学



緊急公開「白保竿根田原洞穴遺跡白保1号～4号人骨」



第 71 回文化講座



夏休み体験学習「焼かないミニ土器作り」



職場体験



出前授業

4. 資料の貸出・利用

(1) 資料の貸出件数

機関 期間	沖縄県立 博物館・美術館	県内 博物館	県外 博物館	国立 博物館	海外 博物館	その他 大学等	小計
通年	1 (1)	5	0	1	0	0	7 (1)
短期	4	6	1	6	0	7	24
合計	5 (1)	11	1	7	0	7	31 (1)

※ () の数字は、重要文化財の貸出件数

(2) 資料の利用件数

機関 目的	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館・ 教育委員会	国内の大学・ 研究者等	海外の 研究者等	報道期間	その他	小計
遺物閲覧	6	11	22	2	3	0	44
図・写真の 掲載	10	5	10	0	9	17	51
合 計	16	16	32	2	12	17	95

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

No.	名 称	期 間	参加者
1	奈良文化財研究所 文化財写真過程	平成 29 年 11 月 26 日～12 月 8 日	宮城淳一
2	文化庁文化財部記念物課 第 1 回埋蔵文化財担当職員等講習会 (神奈川県横浜市開催)	平成 29 年 8 月 30 日～9 月 1 日	大堀皓平 南勇輔
3	文化庁文化財部記念物課 第 2 回埋蔵文化財担当職員等講習会 (福岡県福岡市開催)	平成 30 年 1 月 31 日～2 月 1 日	久高健 田村薫

(2) 職員派遣

No.	依頼内容	派遣先・依頼機関	期 間	派遣職員
1	糸満市文化交流・情報発信拠点施設展示設計調査委員会委員への就任及び第 1 回委員会	糸満市役所・糸満市	平成 29 年 7 月 12 日	金城亀信
2	糸満市文化交流・情報発信拠点施設展示設計調査委員会 (第 2 回)	糸満市役所・糸満市	平成 29 年 8 月 9 日	金城亀信
3	糸満市文化交流・情報発信拠点施設展示設計調査委員会 (第 3 回)	糸満市役所・糸満市	平成 29 年 9 月 6 日	金城亀信
4	平成 29 年度 国立歴史民俗博物館企画展『URUSHI ふしぎ物語 一人と漆の 1200 年史』開会式の出席およびテープカット	浦添市美術館・浦添市教育委員会	平成 29 年 9 月 15 日	金城亀信
5	糸満市文化交流・情報発信拠点施設展示設計調査委員会 (第 4 回)	糸満市役所・糸満市	平成 29 年 10 月 11 日	金城亀信
6	「金属生産遺跡」研究会への出席	国立科学博物館筑波研究施設・国立科学博物館	平成 29 年 11 月 13～15 日	新垣力
7	第 21 回 糸数城跡整備委員会	南城市大里庁舎・南城市教育委員会	平成 29 年 10 月 17 日	金城亀信
8	戦争遺跡に関する研究集会での事例報告	那覇市 IT 創造館・北海道大学アイヌ・先住民研究センター	平成 29 年 11 月 16～17 日	瀬戸哲也
9	地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業第 3 回文化講座の講師	宮古島市総合博物館・宮古島市教育委員会	平成 30 年 2 月 2～3 日	瀬戸哲也
10	カメコ遺跡出土遺物に関する指導	鹿児島県大島郡伊仙町・伊仙町教育委員会	平成 30 年 3 月 12～14 日	瀬戸哲也
11	第 22 回 糸数城跡整備委員会	南城市大里庁舎・南城市教育委員会	平成 30 年 3 月 20 日	金城亀信



徽 章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

平成 29 年度
沖縄県立埋蔵文化財センター年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒 903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7

TEL (0 9 8) 8 3 5 - 8 7 5 1

FAX (0 9 8) 8 3 5 - 8 7 5 4
